

 評価のポイントCL-1.リーダーシップとマネジメント能力
[88-1] 事故発生時の看護記録

1. 以下の看護記録を確認しました。不適切な表現はありませんか？

<看護記録>

13時頃、検温に訪室したところ、ベッドサイドに座り込んでいる患者を発見した。呼吸状態が悪く、具合が悪そうであった。先輩に相談し、バイタルサインを測定してから、医師へ報告した。

2. 不適切な記載を適切な表現に修正してください（数値や内容は問いません）。

看護記録では、「正確」「客観的」「裏付けとなるデータも残す」「事実と介入までを一連で記録する」「不一致がない」ことが重要である。特に、状況を確認できていない事態については、事実のみを記載し、想像や憶測で記載しないよう注意する。事故発生時には、関係者で記録を点検し、「事実が記載されている」ことを確認する。課題の記録において、「正確」「客観的」「裏付けとなるデータも残す」「事実と介入までを一連で記録する」「不一致がない」について、確認して欲しい。その上で、適切な表現にできると良い。